

か る た で しもつけ再発見

『下野市ふるさとかるた』
今月は「ら」です

文教通り周辺には、小学校、高校、病院、文化施設が建ち並び、朝夕は多くの学生が通学しています。

ピカピカの小学1年生のランドセルには交通安全の黄色いカバーがつけられていてとてもかわいらしいものです。小さい背中にとくきわランドセルが大きく見えます。

ランドセルの語源は、オランダ語の「ランセル」(ransel)がなまったものだそうです。春になると、新一年生がお母さんに手を引かれて、学校までの道のりを予行練習する姿が見受けられます。「交差点は危ないからよく見てね」とか、途中でトイ

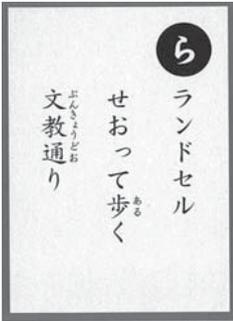


レに行きたくなった時貸してくれるお店を確認したり、親の心配は尽きないものです。

色も以前は、赤と黒の2種類が多いものでしたが、今は青や茶色、ピンク色などカラフルでもおしゃれになりました。

また、日本から発信されるアニメや漫画に、小学生が背負うランドセルが登場し、それを見た海外の方が日本のお土産としてランドセルを購入するため、空港の免税店にはランドセルが並んでいるとか。ランドセルが日本の文化として定着しているということでしょう。

ランドセルをみると、大きな期待と、ちよつとの不安を胸に通学していたころのことを思い出します。



男女共同参画社会

「自分らしさ」を大切に

人間が生まれもった生物学的な性別に対し、社会によつて作り上げられた「男らしさ、女らしさ」に象徴される性差観念を「ジェンダー(社会的性別)」といいます。

ジェンダー意識は、生まれ育った環境の中で無意識のうちにつくられていきますが、「男は仕事、女は家庭」というように、性別によつて役割分担を固定的とする考えにつながっていくことが数多くみられます。

ジェンダーに縛られずに柔軟な考え方をもちることができると、生き方や職業の選択、行動の幅も広がり、より豊かに生きていくことにつながっていくのではないのでしょうか。「男だから」「女だから」という考えに捉われず、「自分らしさ」を大切にしていきましょう。

問い合わせ先

市民協働推進課
☎(40)51585



まずは相談

キャッシュカードと暗証番号をだまし取る詐欺にご注意を

実際に取引のある銀行を装って偽のキャッシュカードを送りつけ、「あなたの個人情報」が漏れているので、新しいカードと交換する」などと言って使用中のカードと暗証番号を送らせる事例がありました。

金融機関がキャッシュカードを返送させたり、暗証番号を尋ねたりすることは絶対にありません。このような連絡を受けても、絶対に返送しないでください。

あやしいと思ったら、取引先の銀行、もしくは警察署や消費生活センターへ相談しましょう。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル(44)4883
国分寺庁舎2階
安全安心課内

相談日時 月々金曜日

(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)

※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。
※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ
☎028(625)2227

わかるかな?

まちがいさがし

2枚の写真には違っているところが3つあります。見つけてみてください。(印刷の汚れは除く。)

※答えは39ページ

橋本神社太々神楽▶



音声版広報(デジタル版CD及びホームページ)が無償でご利用できます。
この音声版は音訳ボランティアさんのご協力をいただき作成しています。
ご希望の方は、社会福祉協議会ボランティアセンター ☎(43)1236までご連絡ください。